

高山の文化



一般社団法人 高山市文化協会 発行

高山市昭和町1丁目 高山市民文化会館内
Tel.34-6550 Fax.34-6877
メールアドレス●mail@takayama-bunka.org
ホームページアドレス●http://www.takayama-bunka.org
(文化会館の催し物案内はこのホームページをご覧ください。)

No.179 2016.8.3 Culture in Takayama

松竹大歌舞伎 開催

高山市文化芸術鑑賞事業として、十月三日(月)午後六時三十分より高山市民文化会館・大ホールにて「松竹大歌舞伎」を開催します。
古典芸能にふれることのできる機会です。是非ご覧ください。

「松竹の製作発表内容」

本公演は全国十七都市にて、三代猿之助四十八撰の内『獨道中五十三驛』を巡演いたします。『獨道中五十三驛』は、昭和五十六年に三代目市川猿之助(現・市川猿翁)が復活上演した作品。代表作を集めた三代猿之助四十八撰の

中でも人気作のひとつとして上演を重ねています。

東海道五十三次の趣向を用い、日本各地を駆け抜けます。今回の上演は、全国公演版として作品のエッセンスを凝縮した新たな構成でお送りいた



6/272 製作発表にて(左:巳之助 右:猿之助)

します。特に、岡崎の古寺での十二単を着た化け猫の宙乗りと、一人の俳優が老若男女から雷までの十三役を早替る演出がみどころとなります。

「市川猿之助コメント」

まだまだ各地には歌舞伎を見たことがない方がたくさんいらっしゃると思います。全国各地の皆様へ、古典だけではなく、宙乗りや早替りなどがあるこのような作品をご覧いただく機会ができ、嬉しいです。

次の世代に芸を伝えるためには、「一番元氣な姿を見せなさい」というのが、伯父の猿翁からの教え。年齢的にも体力的にも最高潮の状態です。

之助さんと一緒にいたします。

「坂東巳之助コメント」

初めて巡業に出たのが、十九歳の時で当時亀治郎だった猿之助さんと一緒にいた。その時も大きなお役をいただき、猿之助兄さんはいつも、自身の殻を破らなければいけないようなお役を与えてくださいます。

今回のお話をいただいた時は、まさに寝耳に水、青天の霹靂でした。まさか、こういう形になろうとは微塵も思いませんでした。自分史上最高の責任を感じていますので、とにかく食らいついていきます。

広報「高山の文化」掲載の名(迷?)物コラム「岡目一目」が一冊の本になりました。

8月1日より 販売開始

「岡目一目」
定 価：1,000円(税込)
販売所：文化会館 1階事務所
文化協会事務局

「岡目一目」

アフガニスタンのバミアン遺跡の復興が進んでいる。巨大仏像などはタリバンによって爆破されて空洞になってしまった。偶像崇拜をしない回教の寺院には、メッカに向かって空洞があるが、それに似ている。復興の掛け声は「国が生き延びれば、文明も又生き延びる」だとか。「stay alive」を「生き延びる」と訳してみたのだが。

国家の存亡は、今や思想主義主張ではなく、民族と宗教の存亡になってきた。どの宗教の教祖も人を殺せとは言っていないのに、宗教の違いが戦争の元になっていることが多い。

中東では、シリア派とスンニ派の争いがシリア難民の元凶。日本人には、難民と言う言葉は身近なものではなく、あまり実感が無い。しかし考えて欲しい。敗戦後の満州・シベリアなどからの引き揚げの悲惨さを。今でも福島に帰れない仮設住宅の人々のことを。

八月の暑い太陽の下で、皆で国家と文明が生き延びることを考えたい。

〈ガンモン毛筆〉

短歌募集

道伝えの日 お月見歌会

高山市文化協会では、高山市文化伝承館において「道伝えの日」事業を行っています。その一環として、仲秋の名月(9月15日)にちなみ広く短歌を募集し、「お月見歌会」を開きます。
選者に、日本歌人クラブ理事で短歌結社「新アララギ」代表の雁部貞夫先生をお招きし、優秀作を選びます。なお、雁部先生から、作品の講評やアドバイスを受けますので、ぜひ、ご応募ください。結果は、広報「高山の文化」に掲載させていただきます。

募集作品
・一般の部 課題歌「月」一首
自由歌 一首
・高校生の部 課題歌「月」一首

応募方法
メールまたは郵送で(必ず住所、氏名、電話番号を記入、高校生は学校、学年も)。
郵送先 〒506-0053 高山市昭和町1 市民文化会館内 高山市文化協会
メールアドレス mail@takayama-bunka.org
8月31日(水)(当日消印有効)

「お月見歌会」

(優秀作の発表、講評、賞品授与、歌会)
日時 10月1日(土) 午後1時30分～
場所 高山市文化伝承館(高山市城山)



(一社) 高山市文化協会加盟団体

文化協会後援 催事案内

第二十三回 坪内流芸能大会

◇日時 八月二十八日(日) 午後一時～

◇場所 こくふ交流センター

・さくらホール

◇入場無料

(公益)社 日本吟道学院院友

会飛驒本部 独吟発表会

◇日時 八月二十八日(日) 午前九時～

◇場所 文化会館・講堂

◇聴講歓迎

フリーチエの「シンフォニー&

オペラパラダイス」

◇日時 八月二十八日(日) 午後三時～

◇場所 丹生川文化ホール

◇料金 一般二、五〇〇円、

高校生以下一、五〇〇円(当

日各五〇〇円増)

高山市文化協会 ワンコイン・シアター

ジュラシック・ワールド

日本語吹替え版、日本語字幕付き(124分)

8/11(木・祝) ①午前10時～②午後2時～ (開場各30分前)

高山市民文化会館小ホール **好評販売中!**

料金(税込)/500円【全席自由】 プレイガイド/高山市民文化会館
お問い合わせ (一社)高山市文化協会 (tel.0577-34-6550) ※3歳未満入場不可

高山市文化芸術鑑賞事業

○主催 高山市・(一社)高山市文化協会 ○お問い合わせ (一社)高山市文化協会 (tel.0577-34-6550) mail@takayama-bunka.org

松竹大歌舞伎

平成二十八年年度



市川猿之助
市川門之助
市川猿弥
市川猿三郎
市川笑也
市川春猿
市川三郎
坂東巳之助

歌舞伎プレセミナー

講師: 葛西聖司(アナウンサー)
日時: 8月5日(金) 午後7時～
場所: 文化会館小ホール
【入場無料】整理券は文化会館窓口



市川門之助 市川笑也 坂東巳之助 市川猿之助

『獨道中五十三驛』は文政十年(一八二七)六月に江戸河原崎座で初演されました。現在にも残る傑作の数々を書き、「大南北」と称される四世鶴屋南北の作で、当時流行していた十返舎一九の「東海道中膝栗毛」に着想を得た南北が、東海道五十三次を舞台に御家騒動と仇討を主軸に描いた大作です。

三代猿之助四十八撰の内
ひとたりたび
獨道中五十三驛
京三條大橋より江戸日本橋まで
浄瑠璃お半「写書東驛路」
常磐津連中

平成28年 10/3 月 午後6時30分開演
午後5時45分開場

高山市民文化会館 大ホール

高山市昭和町1丁目188-1

チケット料金(税込) 一等席【一般】7,000円 【メセナメイト会員】6,500円
全席指定 二等席【一般】5,000円 【メセナメイト会員】4,500円
【ジュニア(18才以下)】1,000円 ※未就学児入場不可

チケット発売 8月6日(土) メセナメイト先行発売 午前10時～
一般発売 午後1時～

プレイガイド 高山市民文化会館 tel.0577-33-8333
飛驒市文化交流センター tel.0577-73-0180



BEGIN

コンサート

2016-2017

in 飛驒高山

●ビギン プロフィール

比嘉栄昇(Vo)、島袋優(Gt)、上地等(Key)メンバー全員、沖縄県石垣島出身。1990年シングル「恋しくて」でデビュー。その後も順調にリリースを重ね、数多くのステージに出演。代表曲の「島人ぬ宝」、「涙そうそう」は老若男女に歌い継がれる楽曲となっている。近年はブラジルやハワイで海外公演を行うなど活躍の場を広げ、ブルースから島唄まで多彩な音楽性と温かいサウンドで多くのファンを魅了し続ける。

2015年3月にデビュー25周年のキックオフとして、故郷の石垣島で記念コンサートを開催し、大きな反響を呼んだ。そして、6月にはブラジルのマルシャのリズムを取り入れたアルバムをリリース。デビュー25周年記念イヤーとしてライブ、リリースと精力的な活動を展開している。

企画制作:アミューズ 後援:テイチクエンタテインメント 協力:BIGIN OFFICIAL FAN CLUB「かりゆしネット」

平成28年 10/19 水 午後7時開演
午後6時15分開場

高山市民文化会館 大ホール

高山市昭和町1丁目188-1

チケット料金(税込) 【一般】6,500円 【小・中学生】2,000円
全席指定 ※未就学児入場可(席使用時は小・中学生料金)

チケット発売 8月27日(土) メセナメイト先行発売 午前10時～
一般発売 午後1時～

プレイガイド 高山市民文化会館 tel.0577-33-8333
飛驒市文化交流センター tel.0577-73-0180